

吾郷佳奈 個展 AGO Kana Solo Exhibition

Tracing on Mirror

2026.4.13 [月] – 5.31 [日] FUJIKOSAN GALLERY

A 《Make up Myself》

2025 年 | 100.2×80.5 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、アクリルミラー

B 《visibility / my contour》

2023 年 | 50.0 × 90.0 × 30.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、トチ

C 《Ego Portrait》

2025 年 | 180.0×180.0 (cm) | 鏡にガラス用塗料

D 《Ego Portrait 3》／ F 《Ego Portrait 2》

2026 年 | 50.0×50.0 (cm) | 鏡にガラス用塗料

E 《Ego Portrait 4-7》

2026 年 | 各 25.0×25.0 (cm)、4 点 | 鏡にガラス用塗料

G 《lineation (selfie)》

2016 年 | 45.0×60.9 (cm) | 鏡に油性ペン、修正ペン

H 《selfie (mon-sun)》

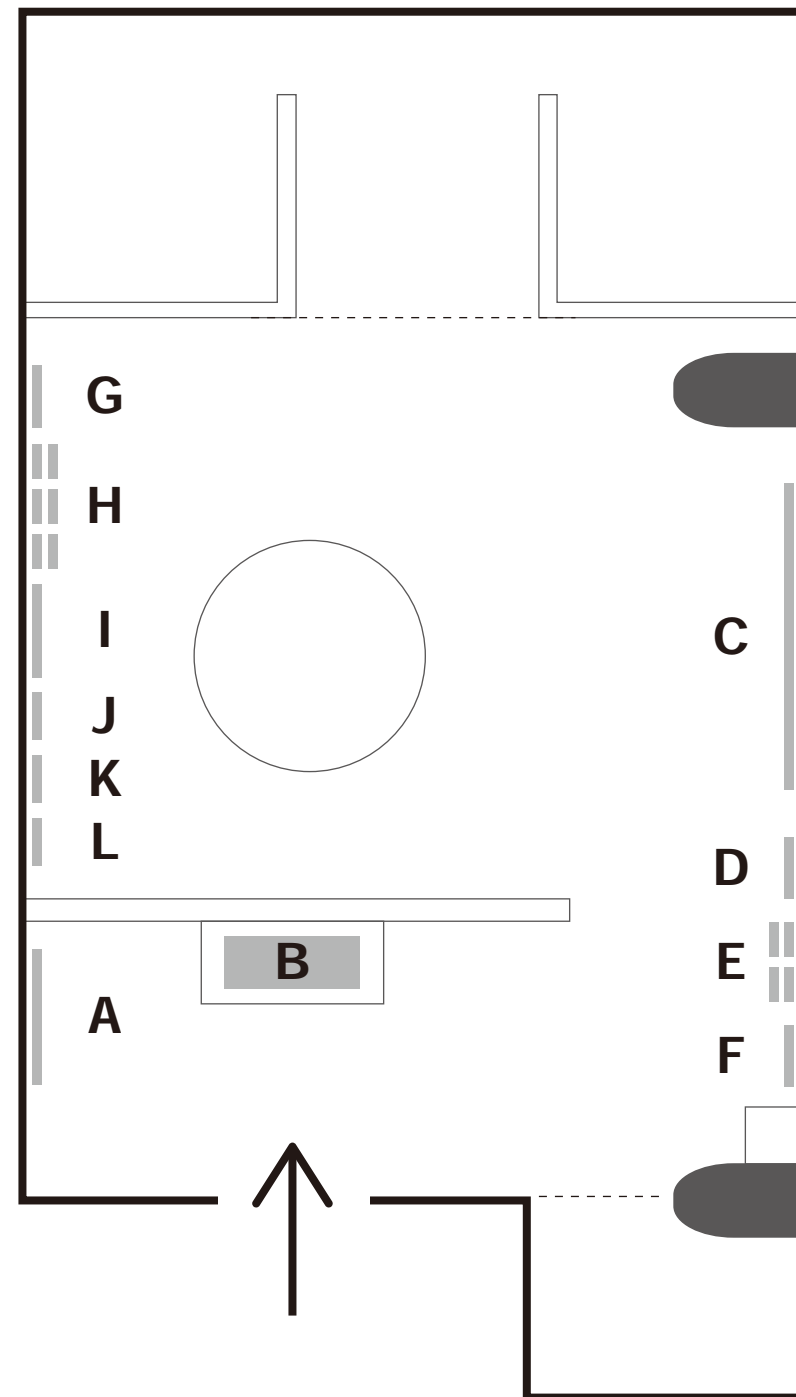
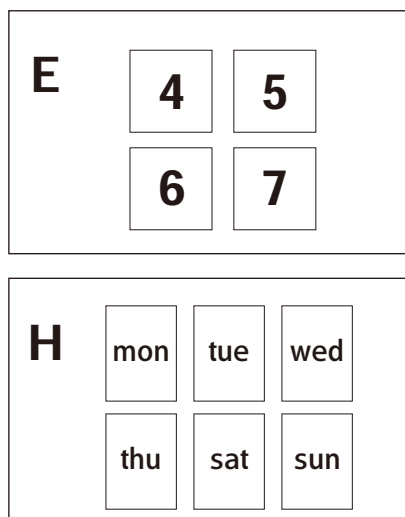
2020 年 | 各 17.0 ×23.0 (cm)、6 点 | 鏡に油性ペン、修正ペン

I 《reselfie 3》

2021 年 | 80.0 ×80.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料

J 《エンドレス 4》／ K 《エンドレス 3》／ L 《エンドレス 1》

2020 年 | 23.0×23.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、アクリル絵具、ハーフミラーフィルム



Tracing on Mirror

鏡を使って自画像を描くことを始めてから、気づけば10年が経ちました。作品に対する主観の純度をどう上げるか。いつのまにか形作られてしまう「自己の像」をどう結び直せるのか。そもそも真に自分を描くとはどういうことなのか。そんな問いとともに制作してきました。

鏡に映る自分自身の輪郭線を直接なぞり描き、蓄積させる。描いている筆の先で、見る私と見られる私が同じ平面上で再会し、関係が閉じる。体は動き回り、移り行く瞬間を描きとめるうちに、狭い視野でのやりとりがいつのまにか鏡面上に広がっていく。鏡に映る像をも巻き込みながら、画面はその時々に変化していく。自分自身の輪郭線を追いかけるほどに、それに接する外側の形が浮かび上がってくる。

鑑賞者は、鑑賞者を作品の当事者として巻き込みます。絵の前に立つその瞬間、あなたも作品の一部となってください。

〈出展作品について〉

A 《Make up Myself》

2025 年 | 100.2×80.5 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、アクリルミラー

化粧をしている時間をモチーフに制作しました。タブレットのインカメラを鏡として使い、化粧をしている自分の姿を録画しました。その動画の上から自分の輪郭線をなぞり描いた線を鏡にしています。化粧をするという行為、ルーチン化され、整えるに至るベクトル自体を美しいものだと感じています。

B 《visibility / my contour》

2023 年 | 50.0 × 90.0 × 30.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、トチ

視界の中でのわたし自身の輪郭を辿って描いたドローイングを元に、鏡の線で描きました。視界の中ではフレームとして無視される、鼻や頬、前髪の流れ。その間に見える身体の輪郭をなぞり重ねています。

C 《Ego Portrait》

2025 年 | 180.0×180.0 (cm) | 鏡にガラス用塗料

D-F 《Ego Portrait 2-7》

2026 年 | (2-3) 各 50.0×50.0 (cm)、(4-7) 各 25.0×25.0 (cm) | 鏡にガラス用塗料

鏡に映った私の輪郭を直接鏡になぞり描くという方法での自画像です。輪郭線を透明色の絵の具でなぞり、集積させ、それ以外の鏡面を不透明の白で塗りつぶすことで線をはっきりと立ち上がらせています。

G 《lineation (selfie)》

2016 年 | 45.0×60.9 (cm) | 鏡に油性ペン、修正ペン

H 《selfie (mon-sun)》

2020 年 | 各 17.0 × 23.0 (cm)、6 点 | 鏡に油性ペン、修正ペン

鏡面に直接、そこに映った私をペンでなぞって蓄積させた一週間分の記録です。曜日毎に油性ペンの色を変えて描画し、その上を修正ペンでなぞっています。鏡を埋め尽くす私の形は一つの面になって、鮮やかなグレーを作り出します。

I 《reselfie 3》

2021 年 | 80.0 × 80.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料

私が写った写真からドローイングをし、私の部分の輪郭のみを線画として抽出したものを重ね、鏡の線で描いています。2021 年のコロナ禍真っ最中のマスクをした自画像の上に、2023 年の素顔の自画像を重ねています。

J 《エンドレス 4》／K 《エンドレス 3》／L 《エンドレス 1》

2020 年 | 23.0×23.0 (cm)

アクリル板にミラー調塗料、アクリル絵具、ハーフミラーフィルム

水面をモチーフに鏡の線を描いた自作「みずのえ」を持つ私と、iPad のインカメラとを向かいあわせることで現れた、合わせ鏡状態。その画面のスクリーンショットをモチーフとしています。鏡の代替として使われることの多いインカメラを用いることで、鏡の表面の現象を保存しました。合わせ鏡という永遠に続き得る構造を私自身に感覚し得る形で保存し、鑑賞者がその中に立つことで成り立つ画面を作ることを目指しました。